「日本100名城」に本県から2城

箕輪城 高崎箕郷
金山城 太田

日本城郭協会は十三日、「日本一〇〇名城」を発表した。本県からは箕輪城（高崎市箕郷町）と金山城（太田市）が選ばれた。世界遺産の姫路城（兵庫県）から、弥生時代の吉野ケ里遺跡（佐賀県）や近世の五稜郭（北海道）まで、時代と地域を代表する多彩な「城」を集めた。

城郭協会 歴史考える上で重要

箕輪城は、群雄割拠の戦国時代、長野尚業によって五〇年ごろ築城されたが武田信玄により、六年に落城。堀と土塁、石垣の中世と近世の城郭の特徴を併せ持つ。一九八年、国史跡に指定された。

金山城は太田市の北に位置する山城。広さは三百ヘクタールで、うち約百ヘクタールが国指定史跡になっている。新田氏の末裔である岩松氏が、一四一九年に築城し以来、由良氏ら城主が変わりながら百二十一年間続いた。

同協会は城を「土塁で囲まれた防御施設」と定義。アイヌ民族のとりで

百名城は①優れた文化財②著名な歴史の舞台③時代や地域の代表―などを基準に、一般からの投票で集まった四百七十八城などを歴史や建築の専門家が検討した。

有名でも小倉城（北九州市）や沼田城（群馬県沼田市）などは「史実通りに復元されていない」として選ばれなかった。

同協会は「鉄筋コンクリートで造られ、史実とかけ離れた天守閣も多い。今回は専門家が最新の復元情報を基に選定した」と話している。

117年の歴史に幕を閉じた伊香保町の閉町式

新市の発展を誓う

伊香保で閉町式 117年の歴史に幕

二十日に渋川市など五市村と合併する伊香保町が町式を開いた。町内外から約八百人が出席して盛大に行われ、百十七年の歴史を刻んだ町との別れを惜しむとともに新市の発展を誓い合った。

同町は一八八九年四月、伊香保、湯中子、水上村と合併する伊香保町が発足。

二十日は十二月の最初の日曜日。町内外から約八百人が出席して盛大に行われ、百十七年の歴史を刻んだ町との別れを惜しむとともに新市の発展を誓い合った。

同町は一八八九年四月、伊香保、湯中子、水ライド上映、町内の児童、生徒ら七人による「伊香保への思い」を込めたメッセージ発表などに続き、伊香保中学校吹奏楽部の演奏に合わせて全員で町歌を斉唱。伊香保中学校の生徒の手で町旗が降ろされ、「ありがとう」の応援に大勢の拍手にと、会場は大きな拍手に包まれた。

城郭協会 歴史考える上で重要

環境省 環境事務所 レンジャー募集

環境省関東地方環境事務所は十三日から、日光国立公園の湯瀬地区で公園内の巡視や利用者指導、自然解説などの業務を担う非常勤国家公務員アクティブ・レンジャーの募集を始めた。

今回の募集は尾瀬地区一人のほか、富士箱根伊豆国立公園（箱根地区）一人の計二人で、ともに四月一日付で採用する。近く南アルプス国立公園に一人を募集する予定。

アクティブ・レンジャーは原則週五日、午前八時半～午後五時の勤務で給与は月払い日給（日額六千円）。応募期間は今月一七日まで。履歴書や小論文の一次審査、面接の二次審査を経て、三月末に採用。住民や母

木造不動明王立像
木造釈迦如来坐像
中曽根家和算資料
千本木龍頭神舞

県指定文化財に4件

県文化財保護審議会（松島栄治会長）は13日、4件を県指定文化財に指定し、1件を解除するよう県教委に答申した。指定・解除は教育委員会、県報告示を経て正式に決定する。今回の答申で県指定文化財は403件となる。

保護審が答申

指定されるのは、「重要文化財が「木造不動明王立像」、「木造釈迦如来坐像」、「中曽根家和算資料」の三件、重要形民俗文化財が「千本木龍頭神舞」一件の計四件。

不動明王像は鎌倉時代（太田市東長田町）所有で平安時代代表作。本県の最古の作。木県の不彫像で十一世紀までさかのぼるものは極めてまれだという。

釈迦如来坐像は吉祥寺（太田市西北新田）所有で平安時代代表作。本県の最古の作。木県の不彫像で十一世紀までさかのぼるものは極めてまれだという。

中曽根家和算資料は旧雄桃郡（現高崎市）の和算家、中曽根宗邸（一八二四―一九〇六年）が収集した資料群。宗邸は和算の大家、関孝和の流れをくむ。資料群は十九世紀の和算家の著書、研究記録、関流免許状など四百点以上からなる。当時、全国的に高水準にあった上州の和算家の著書がほとんど網羅し、和算史を研究する貴重な資料という。

千本木龍頭神舞は伊勢崎市の千本木神社の祭礼で踊られる獅子舞で、江戸時代中期には始まって世紀の和算家の作品とされる。龍頭型のカシラを用いる獅子舞で、現在でも「ザサラ」と呼ばれる。

1件を解除

天然記念物の指定が解除されるのは、伊勢崎市境保泉の「剛志のサザンカ」。樹高六・七メートル、樹齢三百年の年輪を重ねたが、寿命により、昨年六月の調査で枯死が確認されていた。

❶総持寺の木造不動明王立像❷吉祥寺の木造釈迦如来坐像❸中曽根家和算資料❹千本木龍頭神舞の判官の舞

蚕から高分子絹タンパク質抽出技術

県が特許出願

県は十三日、県蚕業試験場が開発した蚕から高分子絹タンパク質を抽出する方法とフィルム化する技術について特許庁に出願したと発表した。県は「高分子絹タンパク質は生体適合性に優れており、医薬品や化粧品、新分野への利用が広がると期待を込めている。

繭糸に含まれる絹タンパク質は、皮膚ケア剤や化粧料などに利用されている。だが、繭糸から抽出する際の薬品や熱処理などで低分子化することがネックとなっていた。

同試験場は二〇〇三年度から、蚕からの抽出研究に着手、薬品などを使用せず、水を用いることによる方法を考案した。

蚕から取り出した絹糸腺を細かく切り、かき混ぜることで、腐敗要因となる絹糸腺膜細胞の分離除去に成功。抽出した高分子絹タンパク質をフィルム状に乾燥させる方法も確立した。

学生閉鎖は幼稚園（一園）、小学校（四校）、中学校（二校）、高校（一校）、学級閉鎖は四クラス（六クラス）、小学校（四校）、中学校（二校）、高校（一校）で新たに発生した。

患者数は前回より減っているが、同課は「まだピークが過ぎたとは言え安心できない」として、引き続きうがい、手洗いの励行、十分な睡眠や栄養摂取、発症時の早めの受診などを呼び掛けている。

運営やシステム 活用で意見交換

日本司法支援センター準備会

法務省が全国で設立を進めている「日本司法支援センター」について、同センター群馬地方準備会（高坂隆信委員長）は十三日、前橋市千代田町の前橋テルサで、二回目の意見交換会を開き、センターの運営やシステムについて話し合った。

同センターは、全国で均一な司法サービスを受けられるようにするため、全国に設置される。本県では、今年十月に前橋市内で開設される予定。

交換会では、高坂委員長が「センターが各相談窓口への橋渡しとなることを期待している」とあいさつ。同課群馬地方事務所が、所長などスタッフ八人と相談員五人で運営されることなどを報告した。

このほか、法務省の職員がセンターの全国的な設置状況を説明。県弁護士会など各相談機関の代表者が、センターの活用方法について意見を交わした。

宮崎選手に「届け」

古里孀恋 力強い滑りに声援

トリノ冬季五輪で孀恋校の孀恋高校関係者ら百二十人が、「トリノに届け！とばかりに大声で応援を送り、力強い滑りをたたえた。

レース開始直前、宮崎選手が画面に大映しになると、拍手と歓声で会場が沸き返った。号砲とともに銃声が始まると、一頭張れ！「頑むぞ」との掛け声が飛んだ。

孀恋校スケート部二年の尾崎将太君（17）は昨年の長野オリンピックを見て、「自分も出てみたい」と思い、スケートを始めた。「レースで大切なのは自分の力を出し切ること。それと、楽しむこと」と信じ、画面を見詰めた。

レース後半、一緒にかけっこをしてくれる友人の岡田の姿が、望遠鏡で見えた。「自分のタイムが上がり始めた。高校の同級生の西本達巳さん（24）＝出場＝の応援に力が入った」と、「大舞台で自分らしさを発揮していて、友人としても誇り。苦しいだろうに自己ベストから約10秒以上遅れてゴール。会場は一瞬どよめき、ねぎらいの拍手が起こった。

「本当によくやった。中学と高校の同級生、宮崎選手（24）＝長野＝は、自己ベストから約10秒以上遅れてゴール。会場は一瞬どよめき、ねぎらいの拍手が起こった。

「本当によくやった。中学と高校の同級生、宮崎選手（24）＝長野＝は、自己ベストから約10秒以上遅れてゴール。会場は一瞬どよめき、ねぎらいの拍手が起こった。